

第二期宇治市観光振興計画 前期アクションプラン総括

令和7年9月

第二期宇治市観光振興計画前期アクションプランは、「新たな時代に輝く宇治の観光まちづくり」をコンセプトに掲げ、令和5年度から令和7年度までを計画期間として、戦略的な施策を展開し、宇治のまちがさらに輝き、豊かになるよう、取組を進めてきました。

この間、大河ドラマと連携した取組として、大河ドラマ展の開催や源氏物語ミュージアムでの講座開催、ゆかりのまちである越前市・大津市と連携した取組など、歴史・文化の魅力発信に取り組んできました。

加えて、天ヶ瀬ダム周辺の周遊観光を推進するため、宇治川天ヶ瀬ダムかわまちづくり計画を踏まえ、宇治川・天ヶ瀬ダム活性化協議会を立ち上げ、地域の皆様と意見交換を行うなど、民間企業と行政の連携強化を図ってきました。

また、ニンテンドーミュージアムの開館や黄檗山萬福寺の国宝指定など宇治の観光にとって追い風となる事柄が続き、大阪関西万博の開幕により、関西に多くの観光客が来訪し、にぎわいを見せており、京都府や近隣市町村、お茶の京都DMO、交通事業者などとの連携により、広域的な周遊観光を進めてきました。

これらの取組内容につきまして、前期アクションプランの観光戦略と施策に沿ってとりまとめ、総括しました。

I 観光コンテンツの新たな発見

宇治は、歴史・文化、宇治茶、自然・景観等、多様な観光資源に恵まれています。その中でも、これまで注目されることのなかった資源に光を当てることで観光コンテンツの新たな発見に努めるとともに、事業者等の新たなチャレンジを支援することで、何度も来たくなる観光地を目指します。

■ 前期アクションプラン期間中の主な取組み内容

1- (1) 【自然環境を活かした観光の推進】

宇治川周辺の景観や豊かな自然環境が織りなす四季折々の姿を活かした宇治ならではの観光を推進します。

◎天ヶ瀬ダムかわまちづくりの推進

天ヶ瀬ダム周辺に加え、宇治橋周辺の新たなにぎわい拠点を含め、一体的に観光資源として活用し、宇治川を軸とした回遊性の向上を図ることを目的として実施。

○宇治川・天ヶ瀬ダム活性化協議会の実施

宇治川天ヶ瀬ダムかわまちづくり計画に基づき、天ヶ瀬ダム周辺の観光資源を活かした広域的な周遊観光の活性化を図るため、河川等の活用について、地域の合意形成及び民間企業と行政の連携強化による取組の推進を目的として協議会を開催。

第1回：かわまちづくり支援制度、河川空間のオープン化についての説明 ほか

第2回：都市・地域再生等利用区域の指定等についての要望書素案 ほか

第3回：宇治市天ヶ瀬ダムかわまちづくりの今年度の取組についての説明 ほか

第4回：かわまちづくり計画の取組内容・都市・地域再生等利用区域指定の説明 ほか

○淀川クルーズ FESTIVAL「うじがわ川下り体験」

淀川舟運活性化協議会が、淀川沿川各地のイベントを観光船や水上アクティビティにより淀川の上下流を一気通貫で繋ぐことで、沿川のにぎわいを促進し、淀川舟運を認知していただくことを目的として開催。

【宇治会場】

天ヶ瀬ダムキャットウォーク&うじがわ川下り体験。

琵琶湖から流れ出る河川、宇治川（淀川）の天ヶ瀬ダムでの特別体験。

キャットウォークの散策とEボートでのアクティブな川下りなど各エリアの魅力が詰まった、プレミアムな体験。



【連携イベント】トレインマーケットの実施

京阪宇治駅のホームに電車を停車させ、車内で淀川沿川各地の特産品などの物販および、制服の試着などを実施。



○親子で天ヶ瀬ダム探検ツアーの実施

子育てにやさしいまち実現プロジェクトの一環として、親子で宇治文化の魅力発見イベントを実施。ダム職員による案内のもと、普段は体験することが出来ない天ヶ瀬ダムのキャットウォーク散策や大迫力の点検放流を見学。

1- (2) 【伝統文化を活かしたコンテンツづくり】

宇治の地に古来より受け継がれてきた伝統的文化を伝承・保存するとともに、新たな取組にも挑戦し、宇治にしかない魅力を生み出します。

◎宇治川の鵜飼事業

○鵜飼の開催

三人の女性鵜匠を中心に、鮮やかな匠の技を披露。

例年、7月～9月末に開催。

令和5年度/2,120人

令和6年度/2,503人

○放ち鵜飼の開催

追い綱を使用せず実施する、日本で唯一の「放ち鵜飼」

例年、春と秋に鵜匠の講演と放ち鵜飼の見学を実施。

令和5年度/129人

令和6年度/77人

○第25回全国鵜飼サミット宇治大会の開催

全国の鵜飼関係者が一堂に会し、鵜飼に関する伝統文化の保存・継承及び観光振興などについて意見交換を行う。2年に1回開催し、令和5年度は宇治市で開催。



1- (3) 【時間のうつろいを感じられる観光の推進】

時間によって表情が変わる宇治を、朝から夜まで、その時間ならではの表情を楽しんでいただける仕掛けづくりに取り組みます。

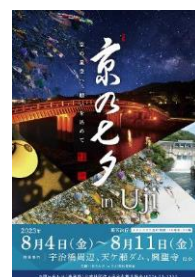
◎京の七夕 inUji 事業

京都各地で開催されている「京の七夕」と連携し、宇治の風情を醸し出す情緒豊かな「京の七夕 in Uji」としてオリジナルの演出で実施し、観光振興を図った。

○令和5年度

笹飾りや灯りのみちで新たな宇治の魅力を創出。また天ヶ瀬ダムの特別見学ツアーや、市内各所でのライトアップおよび興聖寺での夜間拝観などを実施。

- ・ライトアップ（興聖寺、天ヶ瀬ダム、関西電力宇治発電所など）
- ・灯りのみち
- ・願いがかなう道
- ・茶づな de 夏祭り&ナイトマルシェ
- ・「#宇治の七夕 2023」投稿キャンペーン など



○令和6年度

短冊を吊るす笹ロード“願いがかなう道”や、紫式部ゆかりのまち宇治魅力発信プロジェクトと連携し、市内各所を紫カラーにライトアップ、大河ドラマ展や、茶づなミュージアム、源氏物語ミュージアムの夜間拝観などを実施。

- ・ライトアップ（府立宇治公園、関西電力宇治発電所、天ヶ瀬ダム、茶づな）
- ・願いがかなう道（短冊を吊るす笹ロードの設置）
- ・宇治発電所特別公開
- ・天ヶ瀬ダムスタディツアー
- ・七夕夜市
- ・NAKEDディスタンス提灯
- ・茶づな de 水占い/天の川イルミネーション
- ・なないろカードラリー など



○令和7年度

宇治川を天の川に見立て、「織姫」と「彦星」の出会いを演出する兩岸デジタルライトアップを実施。また、府立宇治公園中の島には巨大な笹が誕生。その他、普段見ることができない発電所の見学や夜の天ヶ瀬ダムの見学などを実施。

- ・ライトアップ（宇治川、浮島十三重塔、天ヶ瀬ダム、SMBC 宇治グリーン発電所など）
- ・天ヶ瀬ダムナイトツアー
- ・SMBC 宇治グリーン発電所プレミアムツアー
- ・楽しく学ぼう七夕まつり～紫式部の時代から～
- ・京の七夕願い箱の設置 など



1- (4) 【地元産業と連携した体験型観光の創出】

農業やものづくりなどの地元産業と観光を結びつけることで、さらなる付加価値を生み出すとともに、生産者との交流で多くの学びや新たな発見が得られる体験型の観光を広げ、新たな観光需要を生み出します。

○茶づなでの茶摘み体験の実施

新茶の時期 4 月～5 月にかけて、観光客が身近に体験できる茶摘みを実施。

【参加人数】 令和 5 年度/1,027 人

令和 6 年度/ 964 人

令和 7 年度/1,625 人



○宇治川マラソンの開催

世界遺産や源氏物語ゆかりの地を巡る宇治川マラソン。

令和 7 年度は第 40 回を迎える。

令和 5 年度/第 38 回

参加人数：1,436 人

ゲストランナー 安田 美沙子（宇治市観光大使）

令和 6 年度/第 39 回

参加人数：1,834 人

ゲストランナー 千葉 真子（宇治市観光大使）



■ 総括

歴史・文化、宇治茶、自然・景観等、多様な観光資源を活用した取組ができた。

天ヶ瀬ダムでのツアーをはじめとする観光資源を活用した新たな取組の実施や、大河ドラマの放送により「紫式部ゆかりのまち」として、改めて宇治が注目されることで、新たなコンテンツに加え、従来からあるコンテンツを活かした取組を進めることが出来た。

2 豊富な文化観光資源の魅力再発信

広く知られている観光資源にも、その伝統・歴史・文化を守りながら様々な角度から光をあて、新しい技術も活用することで、多くの方へさらなる魅力を再発信できる取組を進めていきます。

■ 前期アクションプラン期間中の主な取組み内容

2- (1) 【「源氏物語のまち」のブランド力の強化】

宇治市がこれまでから取り組んできた「源氏物語のまちづくり」をさらに推進するとともに、今後大河ドラマで注目が集まる紫式部を改めてPRし、各種イベント等との連携を強化しながら文化観光を推進します。

◎紫式部ゆかりのまち宇治魅力発信プロジェクト

紫式部が主人公の大河ドラマ「光る君へ」が放映されることを契機に源氏物語、紫式部ゆかりのまちとしての宇治の魅力を伝える取組を実施。

＜プロジェクトの3本柱＞

“ほんまもん”の素晴らしさを伝える・源氏物語の世界を伝える・ゆかりの地との連携

○「光る君へ 宇治 大河ドラマ展」の開催

お茶と宇治のまち歴史公園「茶づな」にて、大河ドラマの世界観や宇治の歴史を体感できる展示を実施。 入場者数/117,160人

○大河ドラマ スペシャルトークショー開催

大河ドラマ「光る君へ」の出演者をゲストに招き、トークショーを開催。

【参加者数】令和6年3月/ 865人（3,624人応募）
令和6年6月/ 1,103人（22,725人応募）
令和6年9月/約1,000人（8,329人応募）



○紫式部ゆかりの地（越前市・大津市）との連携

平安時代の歴史文化等を活用した魅力発信や観光誘客の取組について連携・協力をするため、令和5年6月10日に連携協定を締結。

- ・3市共同のホームページ「かいまみる紫式部」を開設
- ・3市周遊謎解きイベント実施
- ・紫式部ゆかりのまちPR番組制作

宇治市観光大使である麒麟川島さんによる川島軍団と、PR番組を制作しBSよしもとやYouTubeで公開。

【再生回数】14,230回（9月5日現在）



○宇治十帖デジタルスタンプラリーの開催

宇治十帖のゆかりの地など宇治橋周辺のスポット（21ヶ所）を、スマートフォンを使って巡るスタンプラリーを開催。

令和7年度も10月1日～実施。

【参加人数】令和5年度/7,973人

令和6年度/7,113人



○宇治田楽まつりの開催

宇治の文化遺産である田楽の復興を目指し、市民が主体となって、ふるさと宇治のまつりである田楽の普及・継承を目的に公演を行った。

例年、京都府立宇治公園で実施。

雨天の場合は宇治文化センターで実施。

令和7年度は10月18日に開催予定。

【参加者数】令和5年度/900人

令和6年度/900人



○源氏物語ミュージアムの取組

源氏物語ミュージアムは、令和6年の年間入館者数が過去最多の約23万1100人を記録。源氏物語・平安時代をより深く学んでもらうため、知ってもらうため講座や展示展等を実施。

【参加人数】

・ 連続講座(全10回)

令和5年度/ 1,267人、令和6年度/ 1,469人

・ 入門講座(全9回)

令和5年度/ 755人、令和6年度/ 852人

・ 企画展(全4期間)

令和5年度/ 86,679人、令和6年度/158,469人

・ 特別企画展

令和5年度/ 20,288人、令和6年度/ 45,066人



2- (2) 【宇治茶ブランドの魅力発信強化】

高級茶としての宇治茶に加えて、宇治茶を使ったスイーツや覆下栽培等、宇治ならではの茶園風景を活かしながら、その歴史や伝統も知っていただける観光を推進します。

○お茶と宇治のまち歴史公園茶づな

史跡宇治川太閤堤跡を含む宇治の歴史や、宇治茶を中心とした宇治の文化を分かりやすく伝える施設として、宇治茶の魅力や観光情報の発信を実施。

・茶づなミュージアム

【来館者数】令和5年度/19,018人

令和6年度/43,271人

・茶臼から抹茶づくり体験

【体験者数】令和5年度/ 3,758人

令和6年度/14,105人

令和7年度/ 7,710人（7月末現在）



○市営茶室対鳳庵

宇治茶及び茶道の普及並びに観光の振興を図るために、市営茶室「対鳳庵」を設置。宇治を訪れる観光客が本場の宇治茶を気軽に味わうことができるようになっている。

【入席者数】

令和5年度 /14,568人（インバウンド 9,218人）

令和6年度 /20,940人（インバウンド 15,527人）

令和7年度※/ 8,792人（インバウンド 7,093人）

※7月末時点



○宇治茶巡りガイドツアーの実施

宇治茶のルーツを巡る旅に地元ガイドが案内。

参加者からは観光客が個人で宇治市内を巡るだけでは知ることのできない宇治のルーツを知ることができると好評。

【参加者数】令和5年度/232人

令和6年度/182人

○各地でのPR

石臼での抹茶挽き体験や、お点前体験・見学、宇治茶試飲を通し、観光客に宇治茶の魅力を発信。

【主な実施場所】

名古屋久屋大通公園、関西国際空港、など



2- (3) 【社寺等の歴史資源との連携】

平等院、宇治上神社の世界遺産をはじめ、萬福寺、三室戸寺、宇治神社、興聖寺等多数の社寺や伝統行事と連携し、歴史的なまちなみを継承しながら、それぞれのブランド力やストーリー性を活かした取組を進めていきます。

○黄檗山萬福寺との取組

- ・ 東京駅のデジタルサイネージに広告を放映
 - 令和 6 年 12 月、萬福寺が国宝に指定されたことを受け、
国宝指定記念イベントと合わせて PR を実施。
 - ・ 座禅や、写経等の親子向け体験イベントを実施
 - ・ 境内を使用し謎解きイベントを実施
 - ・ 京都市認定通訳ガイドの研修を実施
- 



2- (4) 【宇治にまつわるコンテンツを通じた魅力の発信】

平等院、宇治上神社の世界遺産をはじめ、萬福寺、三室戸寺、宇治神社、興聖寺等多数の社寺や伝統行事と連携し、歴史的なまちなみを継承しながら、それぞれのブランド力やストーリー性を活かした取組を進めていきます。

◎響け！ユーフォニアムとの連携

宇治を舞台とするアニメ「響け！ユーフォニアム」は、2015 年から放送。映画やアニメシリーズを通し、連携イベント等を実施し、アニメファン層に宇治の魅力を発信。

○響け！ユーフォニアム 平安衣装描きおろし

紫式部ゆかりのまち宇治魅力発信プロジェクトの一環として、響け！ユーフォニアムの平安衣装描きおろしイラストを制作していただいた。



○「あがたまつり」での等身大パネル設置

6月5日に行われる「あがたまつり」にあわせ、アニメの舞台である大吉山展望台に等身大パネルを設置。

【人数】 令和 5 年度/546 人

令和 6 年度/904 人



○スプリングコンサート 2025～めぐりあう雅楽と吹奏楽～

「響け！ユーフォニアム」と源氏物語宇治十帖のコラボレーション企画。

吹奏楽や平安楽器によるコンサートを実施し、
現代と平安時代の宇治の魅力を再発見していただいた。

【参加人数】 1,300 人



○平安の息吹を感じる秋の特別公開

ほうじょう 放生院、えしん 恵心院、あんよう 安養寺、さいどう 西導寺、ぞうりん 蔵林寺の5つの寺院の、普段は公開されていない平安時代を中心とした13体の仏像の特別公開を実施。紫式部ゆかりのまち宇治の歴史や魅力をPR。

【参加人数】 1,475 人（4日間）

○お茶の京都DMOによる地域文化資源を活用した文化観光の推進

・宇治田楽まつりモニターツアー

【実施日】 令和6年10月19日（土）

【参加者数】 18 人

○京都大作戦でのPRブース設置

山城総合運動公園で開催される京都大作戦では、宇治茶の試飲や「紫式部ゆかりのまち宇治」の魅力発信ブースを設置。

【来場者数】 令和5年度/ 850 人

令和6年度/1,054 人

令和7年度/ 343 人



■ 総括

源氏物語や、宇治茶、社寺等の伝統・歴史・文化を守りながら、紫式部ゆかりのまちである、越前市、大津市との連携や、全国各地での宇治茶PRなど新しい視点での取組が実施できた。また、萬福寺の国宝指定、アニメ「響け！ユーフォニアム」新シリーズの放送などがあり、豊富な文化観光資源を様々な手法でPRすることができ、より多くの方へ宇治観光の魅力を発信できた。

3 広域的な観光の推進

広域的な新たな交流の機会を捉え、多様な主体と連携してお互いの地域の魅力を活かすことで、国内外の観光客に周遊・滞在型の観光を楽しんでいただくとともに、大阪・関西万博等の開催が予定されている中、京都・阪神圏・中京圏を訪れた観光客が宇治へも訪れていただけるような取組を進めていきます。

■ 前期アクションプラン期間中の主な取組み内容

3- (1) 【市内周遊性の向上】

中宇治地域だけではない市内の多様なエリアのにぎわい創出や周遊ルートの整備に取り組み、観光客に宇治を広く巡っていただける仕掛けづくりを行います。

◎小倉エリアから広がるにぎわい創出

ニンテンドーミュージアムが開館し、小倉地域が宇治観光の新たな目的地となることを踏まえ、多くの来館者を効果的に中宇治地域へ誘導し、さらに市内他地域への周遊を促進して市域全体の活性化を図るため、各種広報・発信事業に取り組む。

○ラッピングバス広告による宇治の魅力発信

小倉～中宇治をつなぐバスの運行を開始。
バス車両は紫式部ゆかりのまちをPRするため、
キービジュアルをラッピング。

【乗車人数】21,172人

(令和6年7月22日～令和7年7月末時点)



○『ポケふた』お披露目会

2枚の『ポケふた』が(株)ポケモンより寄贈された



○市内周遊促進パンフレット作成

中宇治・小倉の周遊を目的とした、宇治・小倉ダンジョンマップを制作

○多言語対応WEBサイト「京都宇治観光マップ」のリニューアル

- ・デザインを一新し、視認性及び利便性の向上
- ・掲載スポット数の増加(約80→233)
- ・周遊観光活性化のため、宿泊や体験案内等の特設ページを追加

3- (2) 【お茶の京都エリアで連携した魅力発信】

宇治市をお茶の京都エリアである山城地域の玄関口として、お茶の京都 DMO や各市町村と連携してそれぞれの地域の魅力や特徴を活かした誘客を行うことで、周遊・滞在型の観光を強化していきます。

○やんたんライナー、やんたんライナーコネクト運行

宇治から宇治田原方面を巡るバスを期間限定で運行。（土曜・休日のみ運行）
お茶の京都エリアの宇治田原方面を便利に周遊。
令和7年度は、「グリーンライナー」とし、和束町まで延伸。



○トレインマーケットの実施（再掲）

【1- (1) （自然環境を活かした観光の推進）】

3- (3) 【広域観光の推進】

新名神高速道路の延伸が予定されている中、観光連携協定をはじめ宇治市と様々な連携協定を結ぶ市町村と広域的な連携を進めていくことにより、それぞれの持つ魅力を協力して発信・誘客していく取組を進めていきます。

○宇治・亀岡・舞鶴 3市連携の取組

台湾向け「舞鶴～亀岡～宇治、京都府縦断の旅で京の深い魅力を発見」～リピーター向けの食文化を体験する小型ツアーの開発販売事業。

- ・台湾旅行会社商品説明会

宇治・亀岡・舞鶴のツアーコースを造成し、台湾旅行会社（86社）への説明会を実施。



○大阪関西万博への出展

大阪・関西万博 関西パビリオン京都ブースに出展。

【出展内容】

- ・宇治田楽
- ・宇治茶 PR
- ・紫式部ゆかりのまち宇治 PR



3- (4) 【外国人観光客の誘客強化】

大阪・関西万博の開催が予定されている中、海外の国や地域のニーズを踏まえたプロモーション活動を戦略的に行うとともに、外国人観光客を惹き付ける観光コンテンツや文化的背景にも対応した受入環境の整備を進めていきます。

◎インバウンド事業

海外からの観光客誘客のために、様々なメディアによる海外向けの情報発信を実施。

○海外向け情報誌（WEB）への記事掲載

- ・縦型動画の作成

SNS を活用し、インバウンド（特に欧米）向けのPR動画を作成し、発信。

- ・「地球の歩き方」WEB版 Good Luck Trip への掲載。

日・英・繁・簡・韓の5か国語の記事を掲載。



○三市連携（宇治・亀岡・舞鶴）台湾FIT誘客事業

○海外情報収集・分析業務の実施

○海外旅行会社との商談会参加

○関西国際空港でのプロモーション

関西国際空港に設置された大阪・関西万博のPRブースに参加。

お茶のDMOや、京阪ホールディングス等、関係機関と連携し、宇治観光PRを実施。



○JTBGMTからの集客（お茶の京都DMO実施）

- ・炭山陶芸コース

現役唯一の「京焼登り窯」や、陶器の味わいを出すための道具や職人の技を目の前で見学するツアーを実施。

■総括

ニンテンドーミュージアムの開館など、宇治の新たな観光スポットが誕生し、中宇治以外の周遊観光促進を強化する取組を実施した。また商店街や、お茶の京都エリア、紫式部ゆかりのまちである越前市や大津市との連携に加え、大阪・関西万博への出展により、国内外問わず宇治の魅力を広域的に発信することができた。

4 おもてなしのまちづくり

宇治市民が宇治を知り、好きになり、誇りに思うことで、おもてなしの心を持って観光客に接するとともに、より良いまちづくり、地域づくりにつなげていきます。また、宇治を訪れる全ての方が安心して快適に観光できる環境の整備をデジタル技術も活用し、持続可能な観光のまちづくりを進めていきます。

■ 前期アクションプラン期間中の主な取組み内容

4- (1) 【地域への愛着を通じたおもてなし】

子どもから大人までが自分たちの住む地域や宇治の良さを理解し、魅力を再発見できる取組を進めることで、地域に愛着を持ち、誇りに思い、観光客を温かく迎え入れる心や自分たちの地域をより良くするためのまちづくりにつなげます。

○宇治鳳凰大学 文学歴史コースの実施

宇治鳳凰大学の文学歴史コースにて、源氏物語について学ぶ講座を実施。

※宇治鳳凰大学

4年間で4コース（文学歴史・健康管理・政治経済・社会福祉）を履修する。各年度7回実施。

【対象者】65歳以上の市民

【登録者人数】令和5年度 93人 令和6年度 71人



○宇治のまち魅力再発見事業

宇治学の取り組みの一環として、市内の小学校6学年が、大河ドラマ「光る君へ」放送期間中に、中宇治地域（平等院、源氏物語ミュージアム等）をフィールドワークすることで、自分たちが暮らす宇治のまちが、紫式部にゆかりのあるまちであることを学ぶ。



○京都市認定通訳ガイドの新規募集

京都市、宇治市、大津市の奥深い知識と専門性を備えた通訳ガイドを育成し、外国人観光客の京都市近郊への周遊や長期滞在の促進、外国人観光客の満足度の向上、旺盛な消費意欲の取込み強化を図る。

【応募者数】6期生（R5）220人 7期生（R6）223人

【認定者数】6期生 31人 7期生 41人予定



4- (2) 【商店街等と連携した地域のにぎわいづくり】

多様な主体と連携・協働し、魅力的なヒト・モノ・コト・空間に出会える各商店街をはじめとした地域のにぎわいづくりを行い、観光客にも市民にも楽しんでいただけるよう取組を進めていきます。

◎宇治の商店街周遊企画

○スプリングコンサート 2025 ～めぐりあう雅楽と吹奏楽～（再掲）

【2- (4) 宇治にまつわるコンテンツを通じた魅力の発信】

上記イベントの関連企画として、商店街周遊企画を実施。

中宇治周辺の下記の4つの商店街でお買物された方に、

～紫式部ゆかりのまち宇治魅力発信プロジェクト～

「響け！ユーフォニアム3」の描きおろしイラストを

使用した特製ステッカーをプレゼント。

実施商店街：宇治橋通商店街振興組合、宇治観光塔の島会
宇治源氏タウン銘店会、平等院表参道商店会



○宇治橋通り商店街 夏の感謝祭

商品券が当たるAR デジタルラリーとお買いものラリーを実施。

【日 時】 令和5年8月4日～8月14日

【実施主体】 宇治橋通商店街振興組合



○うじの生活おうえんクーポン 販売

市内事業者の売上向上及び生活者支援のため、市内店舗で利用出来るプレミアム率最大40%の「うじの生活おうえんクーポン」を発行。

【券 種】 共通券：販売価格 5,000 円(使用額面 6,500 円)

個店券：販売価格 5,000 円(使用額面 7,000 円)

【発行枚数】 合計 12 万セット

(共通券 7 万セット、個店券 5 万セット)



4- (3) 【安心して誰もが観光できる環境の整備】

高齢者や障がいがある方、子育て世帯や外国人観光客にも、安全に安心して観光できる環境を整備します。

○観光案内サインの整備

バリアフリー化やユニバーサルデザインの推進に努め、観光に来られる誰もが安心して快適に観光できる環境整備に取り組む。

- ・ 令和5年6月三室戸（菟道門前）に新規サイン設置
- ・ 令和6年6月小倉エリア新規サイン設置
- ・ 令和7年3月 JR 宇治駅南北自由通路内新規サイン設置



○安心して歩行できる空間の創出

JR 小倉駅から近鉄小倉駅までの市道のカラー舗装を実施。小倉地域へ訪れた方が安心して歩行できる、安全な歩行空間を確保。



4- (4) 【快適に観光できる環境の整備】

訪れた方が快適に過ごせるよう、市内の周遊性を高める取組や四季を通じて観光を楽しむ環境づくりに取り組みます。

○観光ハイシーズン中の臨時駐車場の開設

ゴールデンウィーク期間と紅葉シーズンに渋滞緩和を目的とした臨時駐車場を設置。

【詳細】

令和5年度	春	4月30日、5月3日～6日	1798台
	秋	11月23日、25～26日	1132台
令和6年度	春	4月28～29日、5月3日～5日	2407台
	秋	11月23～24日、30日、12月1日	2499台

○市営茶室対鳳庵キャッシュレス決済

市営茶室対鳳庵にインバウンド対策として、キャッシュレス決済を導入。

令和6年12月1日より運用開始。

【実績】合計 2,252 件、3,128,800 円
(令和7年3月末時点)



○場所や季節に関わらず快適に過ごしていただける環境整備づくり

宇治川周辺においてトビケラの駆除のため、薬剤散布を実施。

【開催日】

令和5年度 4月13日、27日、6月28日、8月2日、

※8月3日、10月12日

令和6年度 4月10日、5月2日、6月3日、7月30日、

※8月1日、10月30日

※は宇治発電所に薬剤散布



■ 総括

源氏物語について学ぶ講座や、宇治学による宇治のまち魅力再発見事業など、地域への愛着を通じたおもてなしの心を醸成する取組を実施できた。また、商店街周遊企画やクーポン等を活用した事業により、商店街のにぎわいを創出することができた。

さらに、観光案内サインの整備や、道路のカラー塗装、対鳳庵へのキャッシュレス決済の導入など、誰もが快適に観光できる環境の整備を実施した。

5 効果的な魅力発信

宇治の持つ多様な魅力を世界中の方に発信することで、観光地として宇治を選んでいただくため の訪問意欲の喚起や、観光後も宇治とつながっていただける取組をデジタル技術等も活用し進めていきます。

■ 前期アクションプラン期間中の主な取組み内容

5- (1) 【戦略的な情報発信】

情報発信・情報取得の方法や旅行者のニーズが多様化する中、各観光戦略で取り組む様々な情報を、必要な時に、必要な人へ届けられるよう、データの収集・活用を行い、ターゲットに合わせた情報発信を行います。

○デジタルプロモーションの活用

Yahoo! JAPAN や、LINE、乗換案内など、WEB サイトやアプリ内において、大河ドラマ展のバナーを掲出し PR を実施。また実際に広告を見た方が来訪した人数を観測し、効果的な情報発信に努めた。

○クリアファイルバッグのデザイン更新

イベント等でパンフレットを入れて配布するクリアファイルバッグのデザインを更新。裏面に観光情報やふるさと納税情報を記載。



表



裏

◎観光パンフレットの更新および新規制作

○京都宇治

平成 27 年から活用している観光パンフレット「京都宇治」のデザインおよび内容を一新。（令和 5 年度）

○宇治・小倉ダンジョンマップ

ニンテンドーミュージアムの開館に伴い、周遊観光を目的として新たに、観光パンフレット「宇治・小倉ダンジョンマップ」を作成。（令和 6 年度）



表紙



中面

5- (2) 【観光大使やメディア等を活用した情報発信】

発信力の強い観光大使やメディア等と連携し情報を発信することや、フィルムコミッションによるロケ誘致等に取り組み、宇治を知っていただく機会を創出します。

◎観光大使を活用した情報発信

○観光大使新規就任（オリックス・バファローズ平野佳寿選手）

平野佳寿選手（オリックス・バファローズ）選手が、新たに観光大使に就任。（令和5年度）

観光大使は、（公社）宇治市観光協会、宇治商工会議所、宇治市の3者で任命。

現在観光大使：17名



○観光大使と連携した魅力発信

・中村静香さん

宇治市オリジナル楽屋暖簾を提供し、SNSにおいて宇治の魅力発信をしていただいた。



・麒麟 川島明さん

紫式部ゆかりのまち PR 番組制作（再掲）

【2- (1) 「源氏物語のまち」のブランド力の強化】

・こやまたくやさん（ヤバイTシャツ屋さん）、冠徹弥さん

萬福寺三棟 国宝指定記念式典において、観光大使の特別トークショーを開催。



5- (3) 【市民や訪れた方が発信したくなる取組】

市民や訪れた方が SNS 等を活用し、宇治の魅力を発信したくなる取組を行います。

◎紫式部ゆかりのまち宇治魅力発信プロジェクト

○五感で楽しむ古の文化講座

平安時代から広がる古の文化や歴史を感じることができる講座を年4回（春・夏・秋・冬）実施。誰もが五感で楽しむことのできる文化講座。

令和5年度参加人数：計160人

令和6年度参加人数：計151人

令和7年度（春・夏）参加人数：38人



○「むらさきみどりいとおいし」食のいろどりコンテスト in 宇治

食を通じて宇治の魅力を発信するイベントを実施。
紫式部や宇治茶をイメージした紫色や緑色をテーマカラーに事業者や市民から、グルメ作品を募集。
フェスタでは、開発されたメニューを販売し、
食を通じて宇治の魅力を発信を実施。
表彰イベント来場者：2100 人



◎子育てにやさしいまち実現プロジェクト

○親子で宇治文化の魅力発見事業

親子を対象に宇治の伝統、文化を活かした体験事業のツアーを実施。親子ならではの楽しみ方を発見するとともに、参加者自身での魅力発信を通じ、新たな宇治の魅力を伝えていくことを目的とした。

《令和 5 年度》参加人数：合計 143 人

- ・ 夏企画：興聖寺 DAYCAMP
- ・ 秋企画：親子で楽しむ！ものづくり体験 in 宇治
- ・ 冬企画：親子探偵募集！動く『十八羅漢像』の謎を解け



《令和 6 年度》参加人数：合計 39 名

- ・ 秋企画：親子で天ヶ瀬ダム探検ツアー（再掲）
【1-（1）自然環境を生かした観光の推進】
- ・ 冬企画：親子で禅体験 IN 萬福寺



■ 総括

観光パンフレットの更新や、エリアをフォーカスしたパンフレットの制作を実施し、各地での PR で配布するなど、観光地として宇治を選んでいただけるよう魅力発信に努めた。また、WEB サイトへの広告掲出および来訪計測などにより、効果的に宇治観光の魅力を発信することができた。さらに観光大使との連携、親子を対象としたイベント実施など、参加者自らが発信したくなるような取組を実施し、宇治の魅力を PR した。